

第1回 滝川駅前広場景観検討市民会議（議事要旨）

平成25年7月23日（火）10:00～

滝川市役所 5階 庁議室

《出席者》

区別	氏名	所属団体等
委員	田端 千裕	滝川建設協会 会長
	藤井 謙和	滝川商工会議所 副会頭
	渡邊 園絵	社団法人北海道建築士会空知支部滝川分会 建築士
	畠山 かおる	滝川青年会議所 会員拡大実現会議副議長
	高畑 方雄	鈴蘭中央商店街振興組合 理事長
	嶋田 浩彦	一般社団法人たさかわ観光協会 事務局長
	玉木 俊一	北海道旅客鉄道株式会社 滝川駅 駅長
	樋郡 真澄	滝川市市民生活部長
	千田 史朗	滝川市経済部長
	大平 正一	滝川市建設部長

《欠席者》

区別	氏名	所属団体等
委員	長野 英巳	滝川駅前商店街振興組合

《事業主体》

区別	氏名	所属団体等
事業主体	渡邊 裕彰	空知総合振興局札幌建設管理部滝川出張所道路第1係長
事業主体	島 貴裕	空知総合振興局札幌建設管理部滝川出張所道路第1係主任

《事務局》

区別	氏名	所属団体等
事務局長	千葉 豊	滝川市建設部土木課都市計画室長
事務局員	湯浅 芳和	滝川市建設部土木課都市計画室副主幹
事務局員	岡崎 卓哉	滝川市建設部土木課都市計画室主査
事務局員	東 忠司	滝川市建設部土木課都市計画室主任技師
事務局員	内田 喜大	滝川市建設部土木課都市計画室主任級技師

1. 開会

2. 市長挨拶

3. 委員自己紹介

4. 滝川駅前広場景観検討市民会議の設置及び経過

※事務局より説明があった。

5. 役員選出

※委員より田端委員を委員長に、藤井委員を副委員長にすることで提案が出され、委員全員の合意を得た。

※以降の議事進行においては、委員長を中心に行った。

6. 協議

(1) 滝川駅前広場の景観形成について（案）

※事務局から「滝川駅前広場の景観形成について（案）」に関する概要の説明があり、その後質問や意見等を伺った。

●委員

- ・バスバースが4つあるが、そのバスの行先はどこになるのか。中央バスが駅前広場内に入ってくるということか。
- ・また、バス利用者用の待合所はないのか。

○事務局

- ・高速バスを除いた中央バスの路線バスがバスバースのところに参入するように考えている。
- ・待合所については今後検討していかなければならない課題だと思っている。

●委員

- ・高速バスはここに入らないのか。中央バスのターミナルはどうなるのか。

○事務局

- ・高速バスが止まれるスペースは別に駅前広場北側（スマイルビル側）の市道部に用意している。
- ・ターミナルに関して現在中央バスとの協議では、当面存続すると聞いている。

●委員長

- ・駅前広場の完成はいつを想定しているか。

○事務局

- ・平成28年度を目標にスケジュールを進めていると伺っている。

●委員

- ・環境空間について2つある（団体広場・シンボル広場）が、それぞれの利用形態は検討されているのか。

○事業主体

- ・団体広場に関しては、駅舎に一番近い場所で、滞留とある程度のイベントが出来るスペース

であり、シンボル広場に関しては、一般の人が市街地へとアクセスする歩行空間である。

- ・現在の駅前広場は、シンボル広場付近が最も面積の大きい広場という状況になっているが、新しい駅前広場では、駅の出入り口に一番近い団体広場が最も面積の大きい広場になるということで計画を進めている。

●委員

- ・駅前広場の施設設定の絵を見ると、駅前広場内は車1車線分の幅しかないように見受けられるが、2車線でなくていいのか。

○事業主体

- ・そのことに関してはルールがあり、出入り口は1か所にしなければならず、バスバース等の停車できる幅員を確保しているが、駅前広場内での動線の交差、合流をなくすことが望ましく一方通行が原則にしなければいけないとなっている。
- ・ただし、出入口の交差点は交通円滑化のために右折車線と左折直線車線に分けている。

●委員

- ・渋滞するほど車の乗り入れはないと考えているが、2車線確保することによって、車が溜まらないだろうと考えている。

○事業主体

- ・2車線確保した場合、速度が大きくなり、車線変更の必要が生じる等複雑な交通形態となることから、事故の危険性が高くなる。
- ・事故の危険性を少しでも軽減するために、1車線1方向となっている。
- ・現在の駅前広場は区画線が引かれていないことによって非常にわかりにくくなっている。よって今回はきっちり動線を明確化するように検討している。

●委員

- ・駐車場は、外側に向けた（市道からの出入りが可能な）出入口の検討もしたと思うが、なぜ内側（駅前広場内に向けた出入口）になったのか。

○事業主体

- ・駅や駅前広場を利用する短時間駐車を前提に駐車場を設けているので、駅前広場を利用する車両のすべてが1つの出入口を利用するようにしている。駅や駅前広場を利用しない駐車場利用客は考えていない。
- ・そのため、駅前広場の内側から1方向のアクセスで検討を進めている。
- ・交通島の利用方法についても本市民会議の中でご検討いただきたいと考えているが、滝川市の場合には雪が非常に多い地域であるため、冬期には一時堆雪スペースとして、また夏期は団体等のイベント利用も可能なスペースを考えている。

●委員

- ・タクシーの乗降場所はどこか。

○事務局

- ・タクシーバースで乗降し、タクシープールから1台ずつ順番にタクシーバースに並ぶことを考えている。
- ・タクシーバースは乗車専用と降車専用に分けている。

(2) シェルターについて

●委 員

- ・耐久性は高いほうがいい。

●委 員

- ・ポリカーボネイト製は、経年によって色あせや曇りなど見栄えが悪くなることはないのか。

○事務局

- ・ポリカーボネイト製は、長期的には劣化し、景観を損ねる可能性はある。

●委 員

- ・膜素材は滝川のような豪雪地帯でも耐えられるのか。

○事務局

- ・膜素材にした場合には無落雪型にはせず、常時雪が落ちるようにすることで、荷重による耐久性に関しては問題ない。また、膜素材は軽く柔軟性が高いので、地震などにも耐えられる素材である。

●委 員

- ・ポリカーボネイト製にした時も、照明は設置するのか。

○事務局

- ・夜も使用するので、歩道に照明は設置を要望しているが、昼間は、シェルター天井素材に関わらず照明を点灯させることはないと思う。

●委 員

- ・鈴蘭通も平成元年にポリカーボネイト製のアーケードを作って25年経つが、落雪による破損も多く、20年くらいが限界だと思う。

○事務局

- ・ポリカーボネイト製は（透明だと）遮光性は低いので夏は暑く、膜素材に関しては直射日光や紫外線も遮断できる。アルミ製に関しては、遮光するため涼しくなる。

●委 員

- ・アルミ製のA素材、ポリカーボネイト製のB素材それぞれに、高価、安価と書いてあるが、膜素材はどの程度の価格か。

○事務局

- ・膜素材にも色々あるので、明確な価格は言えないが、アルミ製とポリカーボネイト製の中間の価格帯になると思う。

●委 員

- ・アルミ製のA素材とポリカーボネイト製のB素材はどの程度の価格差があるのか。

○事務局

- ・材料費のみの比較でA素材はB素材の2倍近い値段であると思う。

○事業主体

- ・ポリカーボネイト製自体も安価ではないが、アルミ製をなぜ選定するかというと耐用年数が長いからであり、一度作ったら出来るだけ長く使いたい。
- ・デザインを気にしないのであればアルミ製を選びたいが、照明をしてみたいとかイベントで華やかに見えるようにとかとなると地味になってしまう。
- ・価格も大事ではあるが、何が一番合うかを考えたい。

- ・ポリカーボネイト製は劣化し、微細クラックの発生により、白く見えて、透明性が失われることがある。
- ・道路事業の時に跨線橋等を例にすると階段にポリカーボネイト製のシェルターを設けることがあるが、シェルター内は熱気がこもり、見た目も汚れが目立つようになる場合がある。
- ・膜素材を設置したことはないが、どのような材質を想定しているのか。

○事務局

- ・布地に近い性質のものをコーティングしているものであり、汚れも雨で洗い流されると聞いている。

○事業主体

- ・基本的には交換する前提で施工するのか。

○事務局

- ・選ぶ膜素材の材質にもよるが、30年以上耐えられる膜素材もあるし、20年で張り替えが必要な素材もあると聞いている。

●委員

- ・劣化するとどういう状態になるのか。

○事務局

- ・耐用年数が過ぎると、破れるなどの恐れがあるが、先ほどの滝川市の事例（虹のかけ橋公園）にあった膜素材は既に10年以上経っているが上面も下面も白く健全性を保っており、市内の実績ではポリカーボネイト製よりも健全性が保持できる印象がある。
- ・ただ火には弱く、この場所では考え辛い、花火等の火が当たると問題がある。

●委員

- ・補修代はだいぶ違うものなのか？

●委員

- ・ポリカーボネイトは安い物で一枚5万～7万くらい、プラス工賃となると1枚張り替えるだけで10万円くらいにはなる。

○事業主体

- ・駅前広場で設置する場合はもっと厚手のものになると思うので、更に高価であると思う。

●委員

- ・シェルター下のライトアップはするのか。

○事務局

- ・シェルターの下にライトがないと夜は暗くなってしまうと思う。

○事業主体

- ・普通、ポリカーボネイト製やアルミ製の場合は蛍光灯を設置し、更に外部照明（街路灯）によって照度確保することしか考えていない。

●委員

- ・小樽のように、支柱毎にランプをつければ綺麗だと思う。

●委員

- ・膜素材は、細切れではなく、ポリカーボネイト製でいうと4,5枚で1枚くらいの大きさになり、修復時はパーツごとに修復出来ると聞いたことがある。ライトアップすると綺麗だし、景観も良い。

●副委員長

- ・本日の会議は景観検討会議であり、趣旨は理解できるのだが、将来出来上がった場合に豪雪地帯の滝川でどの様に維持していくかも考えながら、検討していければいいと考えている。

●委員長

- ・膜素材は、日中は透過するし、夜は温かみがあってよいと感じている。
- ・また、北海道ではあまり事例が無いようであるが、滝川の特徴を出していくにはいいのではないかと考えているし、既に滝川市内で設置事例があるようなので可能性としてあると思う。
- ・この会議では何かを決定する機関ではないため自由な意見をいただいた上で、事務局が検討を進めながら決定していただきたい。

(3) 舗装・交通島・身障者バース・柵について

●委員

- ・身障者バースの色はわかりやすく目立つ色にした方がよい。健常者が無断使用しづらいように配慮した色にするのがよい。
- ・交通島については柵を付けるならば、色はこだわらなくてもよいのではないかと。

●委員長

- ・交通島のところで、「菜の花やグライダーを設置し…」と書いてあるが、常設か。

○事務局

- ・調整中ではあるが、常設ではなく、春先やイベント等にあわせて一時的に展示できるスペースにならないかと考えている。

●委員長

- ・常にきれいな状態が保たれるのであれば良いが、経年劣化するので、常設はやめた方がよい。一時的に設置すると言う考え方はいいのではないかと。

●委員

- ・インターロッキングはガタガタするのでいかななものか。平板ブロックの場合、除雪で引っかけたりはしないのか。
- ・身障者バースは目立つ色にすることに賛成である。

○事務局

- ・歩道除雪については、歩道ロータリー車が入ると思うので、引っかける様なことはないかと思う。

●委員

- ・駅舎とのバランスもあるので、あまり派手にするのはどうかと思う。

●委員

- ・舗装は都会的な平板が良いように思うが、駅舎とのバランスは確かに重要である。
- ・使う人によって動線を色分けするといい。利用者側が入ってはいけない場所が分かり易い方がいい。

●委員

- ・事例のように色のついた舗装は見たことが無いのだが、色落ちや耐久性の問題が気になる。

○事務局

- ・市内でも同様の舗装をしたものがあるため、機会があればご覧いただきたい。

●委員

- ・侵入防止柵は、車が入れないようにするだけであれば鎖までつけなくてもよい。

●委員

- ・色のついている柵は、錆びたり剥げたりすると見栄えが悪いので、ステンレス等の錆びないようなものが多い。

(4) 植栽・照明・ベンチ・その他について

●委員

- ・木にしても花にしても、維持管理が大切だと認識している。

●委員

- ・駅前には滝川の顔になるので、花壇を市民活動として市民を巻き込んで、市民がつくるような仕組みにすると良い。
- ・木についてもハウチワカエデであればそんなに大きくならないため、市民が維持管理に参加できると考えている。

●委員

- ・現在、プラタナスの落ちた葉などは誰が片付けているのか。

○事務局

- ・広場内に落ちた葉は定期的に作業員が清掃しているが、風で飛ばされた軒先の葉までは清掃していないので、地先の方々が拾っていただいているものと思う。

●委員

- ・商店街はイチョウがあり、秋になると黄色くきれいだが、落ちた葉っぱで車いすや歩行者が滑ることが起きやすくなるため、市役所に清掃をお願いしている。
- ・バリアフリーを重視するのであれば落葉樹は避けるべきである。

●委員

- ・照明に関して、シェルターの素材を決めてからそれに合ったものを選めれば良いと思う。
- ・ベンチは、雨が降ってもティッシュ 1,2 枚でサラッと拭けば座れるような、夏場も熱くならないような素材が良い。これもシェルターの素材に合わせ、デザインバランスを考えて決めるのが良い。
- ・サインについては、今は 5 か国語が当たり前の時代になってきており、将来のことも考えてユニバーサルデザインが良い。

●委員

- ・ソーラーパネルはシェルターにも設置するといいたくない。
- ・ソーラーで発電された電気を使って照明分の電気料金を賄えると一番良い。
- ・サインについては、現在携帯電話でバーコード（QRコード）の読み取りができるので、そういうので補ってもいいと思う。

(5) 広場イメージについて

特になし

(6) 今後の課題と検討内容について
特になし

(7) 参加した感想について

●委 員

・「滝川らしさ」という言葉がよく出てきたが、どういう意味で滝川らしさを表現するのかがつかめなかったので、次回に期待したい。

●委 員

・作る時はいいけど、後々管理できないのでは意味がない。維持管理まで見据えてなおかつ滝川らしい施設を選ぶべき。

●委 員

・滝川の顔となるような施設になるように頑張っていきたいと思う。

7. 今後の予定について

※事務局より今後のスケジュールとして、第2回景観検討市民会議を8月下旬から9月上旬を予定に予定している旨報告があった。

8. 閉会